

総合的な探究の時間「熱海ラボ」

～熱海におけるジオパークの認知度の高まりを目指して～

(文責 熱海高等学校 教諭 森 祐介)

伊豆半島ジオパーク推進協議会の協力のもと、熱海高等学校は7月から「熱海ラボ」という総合的な探究の時間を利用しジオパーク学習を取組んできました。熱海高校がジオパーク学習を実施したのは初めて。

「熱海ラボ」とは、高校生の視点から企業・団体様の抱えている課題を見つけ出し、問題解決に向けた取組みを行う活動です。熱海市における「ジオパーク」の認知度の低さを課題として活動してきました。

本校の生徒は「ジオパークって何？」というところからのスタートでした。しかし授業を通して、少しずつ理解を深め高校生のユニークな着眼点から「不気味なゆるキャラ」「ご当地ラーメン」「ジオパズル」の3つを課題解決の方法として提案しました。どの案もジオパークの認知度を向上させる方策となるまでには至りませんでした。本校生徒のジオパーク認知度を向上させることにはつながったと感じます。

伊豆半島にはたくさんの魅力があります。しかしその魅力が十分に高校生に伝わっていないのが残念です。だからこそ、伊豆半島の魅力を感じられる授業をこれからも展開していきたいと思えます。



熱海七湯大湯間歇泉のFWの様子



校内最終発表の様子

伊豆半島ジオ検定1・2級 実施

～1級1名、2級17名が合格～

伊豆半島ジオ検定1・2級が1月18日(土)に三島、伊東、下田の3会場で行われました。今年度で第4回目となり44名受検しました。

伊豆半島ジオ検定は、伊豆半島ジオパークに関する知識をさらに深め、もっと楽しむための検定です。毎年夏の時期にジオ検定3級を、冬の時期にジオ検定1・2級を実施しています。

3級は、受検場所は問わずパソコンや本などで調べて回答しても構いません。50点満点中35点取得すれば合格です。締切日までに推進協議会事務局まで回答を送付してください。発行手数料がかかりますが希望者にはカード型合格証を発行いたします。

1・2級は上級検定となり3級に合格していないと検定を受けることができません。また、自宅などで受検できる3級とは異なり会場で行います。自分がどれだけ伊豆半島ジオパークのことを知っているか?腕試しの検定です。50点満点中45点以上で1級、35点以上で2級に合格となります。

検定合格者にはカード型合格証を発行いたします。さらに1級合格者の中で希望する方は伊豆半島ジオパークミュージアム「ジオリア」にお名前を掲示いたします。ぜひ皆さんも受検してみてください。



カード型合格証



1級合格者ネームプレート掲示板

伊豆半島ジオパークロゲイニング大会2020 ～伊豆の国市で開催～

2月15日(土)に伊豆の国市(沼津市を一部含む)で伊豆半島ジオパークロゲイニング大会を開催しました。

ロゲイニングとは地図に記載されたポイントを探しだすオリエンテーリングと宝探しゲームを合わせたようなアウトドアスポーツです。どのポイントをどういう順番で回るかは各チームで決め制限時間内にできるだけ高得点を取る競技です。体力や走力だけでなく読図力やチームワーク、そして作戦が重要となります。

制限時間が6時間と4時間の2コースあり、県内外から全96チーム190名が参加しました。チェックポイントはジオサイトなど計70ヶ所あり合計3,000点となります。参加者たちは地図を片手に市内を駆けめぐりました。

6時間コース優勝チームはチェックポイントを41ヶ所まわり、合計1,792点でした。伊豆中央高等学校の生徒の方にボランティアとしてご協力賜りました。最後は豪華賞品が当たる抽選大会が行われました。他にも参加特典として宿泊代の割引や温泉入浴料の割引などもありました。

今大会はいろいろな企業・団体様にご協力くださいました。この場を借りて感謝申し上げます。



6時間コース スタート直後の様子

《編集後記》

今年度も残りわずかとなりました。ジオパーク学習やイベントなどをおして伊豆半島や自分の住んでいる地域の魅力に気づいた人、理科や地理などの授業が好きになった人、何か感じていただけたのではないかと思います。進学や就職など環境が変わりますが、ジオパークを通して感じたことを今後の生活に活かしてもらえたらと思います。そして、これから先出会った人に伊豆の良さを伝えて下さればと思います。次世代の人が伊豆半島、地域に誇りを持てるような教育のお手伝いをできればと思います。来年度もよろしくお願ひします。

(事務局 早川)